

1 日時・場所 2023年6月14日(水) 5校時 3の2教室

2 単元名 登場人物のへんかに気をつけて読み、感想を書こう  
 (教材名) 「まいごのかぎ」 光村図書 3年

3 単元・教材について

【単元目標】

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力, 人間性等
(1) オ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。	C(1) エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。 C(1) イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。	積極的に登場人物の気持ちの変化を想像し、学習問題や学習課題に沿って、物語の感想を書くことができる。

【教材の特性】

「まいごのかぎ」は、題名そのものも魅力的であり、題名から自由に想像することで、物語への期待感が膨らむ。また、比喩表現やオノマトペ、擬人法などが多用され、不思議な世界を生き生きと描き出している。そのため、児童が言葉の豊かさを味わうことができる教材である。さらに、冒頭にある叙述が離れた場所で繰り返されるなど、物語全体を見渡して読むことを意識することができる物語である。場面と場面を比べたり、登場人物が大きく変わる箇所を見つけたりといった思考を促すことで、児童の読みが深まるようにしたい。授業展開としては、作者の多様な表現を取り上げたり、友だちと考えや感想を交流したりする活動などにより、児童一人一人が感じ方の違いや、物語の多様な楽しみ方など、新たな気づきを広げていくようにする。

【単元計画】(全9時間)

	主な学習活動 代表的な子どもの姿(・)	評価規準
第一次	①教師の範読を聞き、物語のおおまかな内容を捉える。 ・文章が長くて読むのが大変そう。 ・もっと詳しく読んでみたいな。 ②中心人物や物語の設定を捉え、「りいこに聞きたいこと(初めの感想)」を書く。 ・なぜ、りいこはうさぎを描いたの。 ・りいこが嬉しくなったのは、なぜだろう。 ③初めの感想を基に学習問題を作り、単元全体の学習の見通しをもつ。【本時】 ・友だちと話し合ってみよう。 ・りいこが嬉しくなったのは、なぜだろう。	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基におおまかに捉えている。【思】発言・記述  物語の内容について自由に想像を広げて楽しみ、進んで学習計画を立てようとしている。【態】観察・発言

第二次	<p>④出来事などの様子がよく分かる言葉を見つけて、場面を具体的に想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出来事で文章を分けると、考えやすい。</li> </ul> <p>⑤場面に分け、場面ごとに「りいこ」の行動や様子、気持ちを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・りいこの気持ちが変わっている。</li> </ul> <p>⑥⑦物語の最初と最後を比べて、「りいこ」の考え方や気持ちが、どのように変化したのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出来事とりいこの気持ちの変化が関係している。</li> <li>・りいこが嬉しくなったのは、うさぎが出てきたからかな。</li> </ul>	<p>様子や行動、気持ちなどを表す語句に着目し、語彙を増やしている。【知】 発言・記述</p> <p>場所と出来事に着目して場面に分け、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。【思】 発言</p> <p>登場人物の考え方や気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて、具体的に想像している。【思】 発言・記述</p> <p>出来事と登場人物の気持ちを積極的に結び付けて考え、気持ちの変化を捉えようとしている。【態】 発言・記述</p>
第三次	<p>⑧学習問題や、物語でおもしろいと感じたことについて感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不思議な出来事がたくさんあっておもしろい。</li> <li>・りいこが嬉しくなってよかった。</li> </ul> <p>⑨感想を交流し、振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと感じ方が違うんだな。</li> <li>・他の話も読んでみたい。</li> </ul>	<p>文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。【思】 発言・記述</p> <p>自分と友だちとの考えを比べて、共通点や相違点を見つけ、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。【態】 観察・発言</p>

#### 4 児童の実態と《目指す児童の姿》に迫るための手立て

##### 【児童の実態】

- 興味関心をもって物語文を読むことができる。
- 友だち同士の仲が良く、ほとんどの児童が相手と関わり合おうとすることができる。
- 活動に意欲的に取り組もうとする児童が多い。

- 文字を読むことに慣れていない児童がいる。
- 全体的に叙述を基にして読み取る力が低い。
- 自分の考えに自信をもって取り組む児童が少ない。
- 書くことが苦手な児童がいる。



##### 《目指す児童の姿》(中学年ブロック)

自分の思いや考えをもち、相手に進んで伝える児童



【目指す児童の姿に迫るための手立て】

- ①初発の感想を基に、子どもたち自身が「自分の考えを伝えたい。」「みんなで話し合いたい。」というような“考える必然性”のある学習問題を作り、その解決を図るようにする。(考える必然性)
- ②読みの視点を中心人物の「りいこ」に限定し、場面と場面を比べたり、登場人物が大きく変わる箇所を見つけたりすることで、叙述を基に自分の考えをまとめるようにする。(考えの根拠の明確化)
- ③学習問題や学習課題に取り組むなかで、子どもたちから生まれる考えのずれや疑問を大切にする。対話に必然性をもってペアワークやグループワークに取り組むことで、自分の読みや考えを深めるようにする。(考えの共有化・考えの相違の自覚化)
- ④何について考えたり、取り組んだりするのかの具体的な指示をすることで、児童が一人一人の思考のずれを意識し合い、授業への意欲を高められるように支援する。(教師の関わり)



研究テーマ  
 学び合い、高め合う子どもの育成  
 ～子ども主体の授業をめざして～

5 本時について (3 / 9 時間)

【本時目標】 初めの感想を基に学習問題を作り、単元全体の学習の見通しをもつ。

【本時展開】

学習のめあてと活動 教師の関わり (○)、子どもの姿 (・)	支援・留意点 (・) 評価 (○)【評価項目】 / 方法
<p>①学習のめあて (学習課題) を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">○初めの感想を基に「読みのめあて」を作ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どういうこと？</li> <li>・ 前の「こまを楽しむ」でやってみたいなことか。</li> </ul> <p>②前時のノートを読み、自分が「りいこに聞いてみたいこと」を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なんで、りいこは描いたうさぎを消したの？</li> <li>・ どうして、りいこは嬉しくなったの？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習のめあて、学習の仕方を確かめながら、本時の見通しをもつ。</li> <li>・ 読みの視点を中心人物の「りいこ」に限定する。</li> </ul>

<p>③交流を通して、友だちとの考えの相違点に気づき、自分たちで読みを深めたいことを整理する。</p> <p>○グループで「りいこに聞いてみたいこと」を比べて、特に聞いてみたいこと決めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなは何て書いたのか知りたい。</li> <li>・友だちと同じものがある。</li> </ul> <p>④児童の発言や記述の相違点などから、全体で話し合い、「読みのめあて（学習問題）」を作る。</p> <p>○グループで出た意見をもとに、全体で「読みのめあて」を考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと話し合ってみたいな。</li> <li>・りいこが嬉しくなったのは、なぜだろう。</li> </ul> <p>⑤本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読がんばろう。</li> <li>・もっと読んでみたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐに解決できてしまいそうなものや、解決が難しすぎるものについては個別に声をかける。</li> </ul> <p>○自分の考えを広げることに進んで取り組み、学習課題に沿って互いの意見を交流しようとしている。【態】発言・記述</p>
--	---

【研究協議のまとめ】

授業実施後に研究協議を行った内容をまとめてください。

- ・《目指す児童の姿》との関連
- ・授業者の感想
- ・取り入れた手立てについて
- ・参観者の感想
- など

【次回につなげたいこと】

研究協議の中で、《目指す児童の姿》と関連させて「次回につなげたいこと」を話し合います。

次回の授業者は、この内容を取り入れて校内研究を進めるように意識してください。

記入後、ブロックの推進委員に提出します。

推進委員会で取りまとめ、全体に共有するようになりたいと思います。